

鳥羽伊良湖航路について

1 伊勢湾フェリー株式会社の概要

所在地	本 社：鳥羽市鳥羽三丁目 1484-111 鳥羽営業所：同上 伊良湖営業所：愛知県田原市伊良湖町宮下 3000-65
開設	昭和 39 年：鳥羽伊良湖航路開設
設立	昭和 39 年 4 月 4 日
事業の内容	海運業・国内旅行業・駐車場業・商品販売業・海運代理店業・不動産賃貸業
現在航路	鳥羽港～伊良湖港（国道 42 号、259 号の海上区間を成す）
廃止した航路	①鳥羽～師崎（2005 年 2 月廃止、常滑航路の開始に伴う） ②鳥羽～常滑（2007 年 3 月廃止、2005 年 2 月～）
所有船舶	鳥羽丸（船齢 14 年） 総トン数 2,399 トン 航海速力 16.3 ノット 旅客定員 500 名 車両積載台数：バス 14 台 乗用車 52 台 バイク 15 台 知多丸（船齢 6 年） 総トン数 2,331 トン 航海速力 17.5 ノット 旅客定員 500 名 車両積載台数：バス 11 台 乗用車 43 台 バイク 10 台 伊勢丸（船齢 5 年） 総トン数 2,333 トン 航海速力 17.5 ノット 旅客定員 500 名 車両積載台数 バス 11 台 乗用車 43 台 バイク 10 台
運賃料金	①一般旅客：大人 1,500 円、小人 750 円 ②車両：普通乗用車（5m まで）の場合：6,500 円（運転手含む）
駐車場	鳥羽乗り場：1 日 800 円 ※通常 200 台 伊良湖乗り場：公共駐車場のため無料 ※通常 200 台
会社の沿革	昭和 39 年 4 月 伊勢湾自動車航送船株式会社設立 昭和 39 年 11 月 鳥羽～伊良湖間フェリー航路営業開始 昭和 48 年 6 月 商号を伊勢湾フェリー株式会社に変更 昭和 51 年 10 月 鳥羽～師崎間フェリー航路営業開始 平成 9 年 7 月 本店を名古屋市から三重県鳥羽市へ移転 平成 17 年 2 月 鳥羽～師崎間フェリー航路廃止 平成 17 年 2 月 鳥羽～常滑間フェリー航路営業開始 平成 19 年 4 月 鳥羽～常滑間フェリー航路廃止 平成 22 年 10 月 1 日 新体制による伊勢湾フェリー（株）スタート

2 鳥羽伊良湖航路の概要

運航ダイヤ（所要時間約55分）便数：通常期8往復～繁忙期13往復

（伊勢湾フェリーホームページより）

平日ダイヤ		土日祝日ダイヤ				繁忙期ダイヤ		
※繁忙期以外の平日と8月以外の平日		※繁忙期以外の土日祝と8月の平日				※GW・お盆・年末年始		
鳥羽発 三重県鳥羽市	便	伊良湖発 愛知県田原市	鳥羽発 三重県鳥羽市	便	伊良湖発 愛知県田原市	鳥羽発 三重県鳥羽市	便	伊良湖発 愛知県田原市
8:10	1	8:10	8:10	1	8:10	8:10	1	7:50
9:30	2	9:30	9:20	2	9:20	9:00	2	8:30
10:50	3	10:50	10:40	3	10:40	9:40	3	9:20
12:10	4	12:10	11:50	4	11:50	10:40	4	10:10
13:40	5	13:40	13:00	5	13:00	11:20	5	10:50
15:10	6	15:10	14:10	6	14:10	12:10	6	11:50
16:30	7	16:30	15:20	7	15:20	13:00	7	12:30
17:40	8	17:40	16:30	8	16:30	13:40	8	13:20
			17:40	9	17:40	14:30	9	14:10
						15:20	10	14:50
						16:10	11	15:40
						17:00	12	16:30
						17:40	13	17:40

料金表

自動車航送運賃

（伊勢湾フェリーホームページより）

車両の長さ	片道 <2日間有効>	往復(かえり) <7日間有効>
3m未満	4,500円	8,100円(3,600円)
3m以上 4m未満	5,500円	9,900円(4,400円)
4m以上 5m未満	6,500円	11,700円(5,200円)
5m以上 6m未満	7,500円	13,500円(6,000円)
6m以上 7m未満	8,700円	15,660円(6,960円)
7m以上 8m未満	9,900円	17,820円(7,920円)
8m以上 9m未満	11,100円	19,980円(8,880円)
9m以上 10m未満	12,300円	22,140円(9,840円)
10m以上 11m未満	13,500円	24,300円(10,800円)
11m以上 12m未満	14,700円	26,460円(11,760円)
1m増す毎に	1,200円	

車両同乗者旅客運賃（運転手以外の1名様旅客運賃）

（伊勢湾フェリーホームページより）

種 別	片 道 <2日間有効>	往 復(かえり) <7日間有効>
大 人(中学生以上)	1,500 円	2,700 円(1,200 円)
小 人(小学生)	750 円	1,350 円(600 円)

自転車・原付・自動二輪車運賃(運転手含む)

（伊勢湾フェリーホームページより）

車両の長さ	片 道 <2日間有効>	往 復(かえり) <7日間有効>
自転車 大人(中学生以上)	2,500 円	4,500 円(2,000 円)
自転車 小人(小学生)	1,750 円	3,150 円(1,400 円)
原付自転車(125CC以下)	3,000 円	5,400 円(2,400 円)
自動二輪車(750CC未満)	3,500 円	6,300 円(2,800 円)
自動二輪車(750CC以上)	4,000 円	7,200 円(3,200 円)

一般旅客運賃

（伊勢湾フェリーホームページより）

種 別	片 道 <2日間有効>	往 復(かえり) <7日間有効>
大 人(中学生以上)	1,500 円	2,850 円(1,350 円)
小 人(小学生)	750 円	1,430 円(680 円)

団体旅客割引運賃

（伊勢湾フェリーホームページより）

種 別		10名～50名	51名以上
一般団体	大 人	1,350 円	1,200 円
	小 人	680 円	600 円
学生団体	中・高・大学生	1,050 円	
	小学生・園児	680 円	600 円

特別室料金

（伊勢湾フェリーホームページより）

種 別	片 道 1 回
大 人(中学生以上)	320 円
小 人(小学生)	160 円

身体障害者・知的障害者 旅客運賃 割引率

(伊勢湾フェリーホームページより)

種 別	本 人	介護者
第 1 種身体障害者・第 1 種知的障害者	5 割引	5 割引
第 2 種身体障害者・第 2 種知的障害者	5 割引	適用なし

※乗船の際、発券窓口へ障害者手帳を提示してください。

※車両運賃に対する障害者割引の適用はいたしません。(旅客運賃のみに適用)

◆適用条件

- 中学生以上は、大人運賃。小学生は小人運賃。
- 大人に同伴されず乗船する小児、又は団体として乗船する1歳以上で小学校に就学していない小児は、小人運賃を適用。
- 大人に同伴されて乗船する1歳以上で小学校に就学していない小児の運賃は、大人1名につき1人分は、無賃とする。ただし、大人1名につき1名を超えるものは、小人運賃を適用。
- 団体旅客運賃の計算方
 片道乗船の団体旅客運賃 $\text{団体旅客運賃} = \text{団体旅客運賃} \times \text{人数}$
 往復乗船の団体旅客運賃 $\text{団体旅客運賃} = (\text{団体旅客運賃} \times \text{人数}) \times 2$
- 車両の長さとは、当該自動車の自動車検査証に記載された長さ。
- 積荷が車体の前後に突出している場合及び他の車両けん引している場合は、全体の長さを適用。
- 車体の幅又は積荷の幅が2.5mを超える場合は、その超えている幅25cm毎を単位として当該自動車運賃の1.5割増。割増後は数は切り上げ。

◆運賃・料金の払い戻し手数料

- 1.乗船日時が指定されているもの……………200円
- 2.乗船日時が指定されているもので、乗船日の1週間前まで……………200円
- 3.乗船日時が指定されているもので、乗船日の2日前まで…券面額の10%又は200円のいずれか多い額
- 4.乗船日時が指定されているもので、出航まで……………券面額の30%又は200円のいずれか多い額

航路マップ（鳥羽港～伊良湖港 約55分）

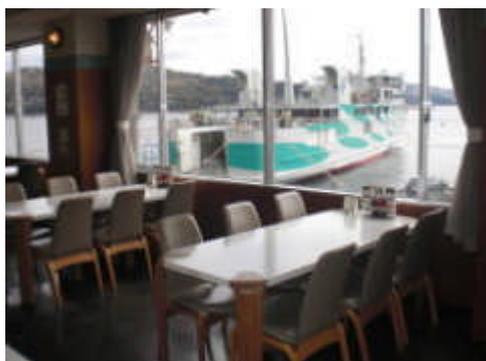
（伊勢湾フェリーホームページより）



鳥羽ターミナル売店

(伊勢湾フェリーホームページより)

レストランフェリー



フェリー発着場を望み、美しい
鳥羽湾のロケーションは
ひと休みに最適です。

営業時間は、9:00～16:30

[○メニュー紹介](#)

[○店内の紹介](#)

喫茶潮騒



乗船の待ち時間に
ホットする1杯のコーヒー
いかがですか

営業時間は、7:40～17:30

[○サービスメニュー紹介](#)

ショップ伊勢湾



伊勢志摩のお土産を多数取り揃えております。

伊勢志摩の銘菓ベスト5

- 赤福 700円 1,000円
- 真珠漬 1,050円
- 絲印せんべい 1,000円
- 鈴最中 1,160円
- 老伴 1,050円

海鮮伊勢湾



人気商品ベスト5

- 牛肉しぐれ 1,050円
- まる天5色あげ 1,050円
- めかぶのお吸い物 530円
- あらめ・ひじき 530円
- とろろこんぶ 840円

伊勢湾コンビニ



新聞・週刊誌・地酒・缶ビールやお子様向けのお菓子を取り揃えております。

ツジモト真珠



四神獣の神秘のパワーを、ぜひ体験してください。

天の四方を司ると信じられている、玄武・白虎・朱雀・青龍の本水晶のプレスレットです。

お好みの天然石とその場でプレスレットに仕上げます。(10分程度)

四神獣プレスレットお買上げのお客様に勾玉のストラッププレゼント中です。

※2009年10月30日まで

うどんのマルイ



人気商品ベスト7

- | | | |
|----|------------|--------|
| 1位 | 伊勢うどん | 500円 |
| 2位 | 青さのりうどん・そば | 500円 |
| 3位 | 松阪牛カレー | 800円 |
| 4位 | 松阪牛串焼き | 500円 |
| 5位 | 大アサリ焼き | 500円 |
| 6位 | 焼き牡蠣(冬季のみ) | 500円 |
| 7位 | あわび焼き | 2,000円 |

3 輸送状況

(伊勢湾フェリー(株)出典データ及び鳥羽伊良湖航路対策協議会出典データを利用し、編集しています)

①旅客輸送、乗用車航送台数の推移

平成6年度のピーク時に1,158千人であった旅客数は、平成20年度には454千人、平成21年度には前年度比約22%減の352千人となっている。

また、平成6年度のピーク時に193千台であった乗用車航送台数は、平成20年度には103千台、平成21年度には前年度比約27%減の75千台となっている。

合計

※小人は、0.5換算

	航送台数			航送旅客人員			一般	バイク	総旅客
	バス	乗用車	トラック	バス	乗用車	トラック			
H6	17,560	193,328	13,945	440,325.5	319,318.5	2,283.5	171,381.5	13,152	1,158,142.0
H12	7,251	159,727	11,087	176,165	237,115	1,912	133,975	9,952	727,232
H13	6,586	155,545	9,107	157,553	221,307	1,480	138,374	10,337	689,951
H14	5,500	145,712	8,539	131,652	206,154	1,457	133,911	10,418	633,149
H15	5,082	139,768	8,221	122,924	192,303	1,298	137,427	9,979	607,022
H16	4,932	127,045	7,096	124,218	181,892	1,064	115,767	9,717	562,013
H17	3,908	108,033	6,374	107,355	154,554	909	93,045	9,083	474,178
H18	3,453	108,294	5,692	91,518	156,765	899	99,783	10,117	466,403
H19	3,754	111,962	6,018	99,695	159,619	802	109,742	10,935	491,591
H20	3,346	103,431	5,403	89,507	154,268	658	98,103	11,333	454,716
H21	2,838	75,652	4,774	74,342	113,510	509	81,296	8,357	352,921

鳥羽発→伊良湖行

※小人は、0.5換算

	航送台数			航送旅客人員			一般	バイク	総旅客
	バス	乗用車	トラック	バス	乗用車	トラック			
H6	9,719	99,351	7,756	242,638.0	158,599.0	1,166.5	88,646.5	6,367	607,876.0
H12	4,426	83,408	6,268	107,483	123,812	1,081	66,246	4,886	392,724
H13	3,964	81,406	5,147	94,894	115,822	839	70,829	5,173	373,272
H14	3,320	76,301	5,036	78,296	108,042	822	68,697	5,158	340,627
H15	2,910	70,696	4,777	72,159	95,867	759	72,048	4,979	319,216
H16	2,872	66,884	4,119	72,598	96,159	582	58,708	4,891	301,933
H17	1,990	56,356	3,719	53,521	80,947	496	47,519	4,553	244,547
H18	1,965	56,494	3,456	51,278	82,113	444	53,111	5,108	248,860
H19	2,125	59,066	3,891	56,210	84,797	454	57,640	5,553	264,182
H20	1,892	54,874	3,434	49,105	82,305	340	49,805	5,879	241,755
H21	1,596	41,126	3,112	41,262	62,397	282	41,134	4,319	190,909

伊良湖発→鳥羽行

※小人は、0.5 換算

	航送台数			航送旅客人員			一般	バイク	総旅客
	バス	乗用車	トラック	バス	乗用車	トラック			
H6	7,841	93,977	6,189	197,687.5	160,719.5	1,117.0	82,735.0	6,785	550,266.0
H12	2,825	76,319	4,819	68,682	113,303	831	67,729	5,066	334,508
H13	2,622	74,139	3,960	62,659	105,485	641	67,545	5,164	316,679
H14	2,180	69,411	3,503	53,356	98,113	635	65,214	5,260	292,522
H15	2,172	69,072	3,444	50,765	96,436	539	65,379	5,000	287,806
H16	2,060	60,161	2,977	51,620	85,733	483	57,059	4,826	260,080
H17	1,918	51,677	2,655	53,834	73,607	414	45,527	4,530	229,631
H18	1,488	51,800	2,236	40,240	74,652	455	46,672	5,009	217,543
H19	1,629	52,896	2,127	43,485	74,822	348	52,103	5,382	227,410
H20	1,454	48,557	1,969	40,402	71,963	319	48,298	5,454	212,962
H21	1,242	34,526	1,662	33,080	51,114	227	40,162	4,038	162,012

②地域別利用実績（平成 21 年度）

乗用車の航送では、愛知県（27%）、静岡県（27%）、関東（19%）、三重県（13%）、関西（8%）等となっている。

また、バスの航送では、関東（37%）、静岡県（13%）、愛知県（11%）、関西（9%）、三重県（4%）等となっている。

地域別利用実績

	伊良湖→鳥羽		鳥羽→伊良湖		合計	
	乗用車	バス	乗用車	バス	乗用車	バス
愛知県	33.4%	15.0%	18.0%	7.0%	27.0%	10.7%
三重県	6.0%	1.8%	22.5%	5.2%	12.9%	3.6%
静岡県	31.5%	11.4%	20.0%	14.2%	26.7%	12.9%
岐阜県	0.8%	2.0%	1.8%	4.7%	1.2%	3.4%
関東	17.4%	38.0%	21.1%	36.4%	19.0%	37.1%
北関東	1.2%	2.9%	1.9%	5.4%	1.5%	4.2%
関西	6.5%	8.9%	9.7%	8.0%	7.8%	8.5%
中国	0.5%	3.6%	0.4%	2.0%	0.4%	2.7%
甲信越	1.1%	2.6%	2.7%	8.2%	1.8%	5.5%
北陸	0.3%	0.8%	0.6%	1.6%	0.4%	1.2%
その他	1.3%	13.0%	1.3%	7.3%	1.3%	10.2%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%

3 鳥羽伊良湖航路の役割

(伊勢湾フェリー(株) 出典データ及び鳥羽伊良湖航路対策協議会出典データを利用し、編集しています)

(1) 観光

● 鳥羽・伊良湖間の航路を利用した周遊観光

- ・鳥羽伊良湖航路の総旅客 35 万人 (H21) のほとんどが観光目的であると思われる。
- ・伊勢湾フェリーは伊勢志摩の「海の玄関口」としての柱であり、渥美半島の「西の玄関」へのアクセスの一つである。同航路は、伊勢湾の景観を楽しむ重要な観光資源であり、外国人観光客誘致戦略としても、同航路を活用した観光商品の造成等が期待される。
- ・一方、東名阪自動車道四日市インター周辺の渋滞が慢性化する中、ゴールデンウィークやお盆、正月など、混雑時の迂回路として重要な役割を担っている。

● 韓国を中心とした東アジアからの観光ルート

- ・韓国の大手旅行会社ハナツアーの人気コースに、関空～京都・奈良～伊勢神宮～(フェリー)伊良湖～箱根～東京～日光というツアーがあり、ハナツアーによると、海上景観を楽しむことを目的の一つとして、同航路を利用し、その多くが伊良湖に宿泊している。

(2) 物流

● 水産・海産物や工業用資材、農畜産物の輸送手段

- ・平成 21 年度のトラックの航送台数は、4,774 台であり、1 便あたりにすると 0.7 台であり、多くはない。しかし、日常的に利用している企業 10 社(三重県 6 社、愛知県 2 社、静岡県 2 社)で全体の輸送量の約 7 割(3,397 台)を占め、伊勢志摩地域の水産・海産物や田原市内の工場からの工業用資材等の輸送ルートとして活用されている。

H21	水産・海産物	工業用資材	農畜産物	その他・不明	計
台数	2,131 台	1,359 台	443 台	841 台	4,774 台
割合	44.6%	28.5%	9.3%	17.6%	100%

【三重県の業者の利用】

- ・4 社で年間 1,400 台程度、東京の築地市場への鮮魚・活魚の出荷(鳥羽⇒伊良湖)に利用。

【愛知県の業者の利用】

- ・1 日、2 台～3 台、田原市の工場から伊勢市のタイヤ製造工場へタイヤの原料となるカーボンブラックを輸送している。
- ・豊川市の畜産業者が、週 2 回程度、伊勢地方からの孵化用卵の仕入の際に利用。
- ・田原市内のスイカ農家 5 戸が、6 月～7 月の間に、各戸 5～16 往復程度、伊勢山田市場への搬送に利用。

【静岡県の業者の利用】

- ・畜産業者が、年間 192 台程度、伊勢地方からの孵化用卵の仕入の際に利用。

(3) 地球温暖化の防止

● 地球温暖化の防止に有効なモーダルシフトを担う

- ・船舶の輸送量あたりのCO₂排出量は、乗用車やトラックに比べて少なく、フェリーは、地球温暖化防止に有効なモーダルシフトの手段といえる。

(4) 代替輸送手段

● 災害時等の避難住民の輸送や緊急物資の運送手段

- ・海上交通は、道路や鉄道などの陸上輸送と同様に、災害時等の住民の避難経路や物資輸送経路としての役割を担っている。

(5) 地域づくり・地域間交流・連携

● 地域づくり

- ・鳥羽市では、海陸交通の結節点である鳥羽駅周辺のまちづくりに取り組んでおり、「鳥羽湾の島々を行き交う大小の船」は、重要な景観財産であり、とりわけ伊勢湾フェリーは、その核をなすツールである。
- ・一方田原市における伊良湖港周辺の賑わいは、航路の利用客によりもたらされている部分が大きく、東の玄関（豊橋方面からの国道42号、259号）、西の玄関（鳥羽、知多方面からのフェリー）の両面からのアプローチによる周遊ルートづくりに取り組んでいる。

● 地域間交流

- ・田原市と伊勢・鳥羽・志摩地域で、毎年実施されている少年野球を通じた交流や、三河地方の絹糸を伊勢神宮に奉獻する「お糸船（おいとせん）」など、伊勢湾フェリーを利用して長い間実施されている。
- ・また、今回の存続問題を契機に、両地域のバレーボールスポーツ少年団による交流も始まっている。

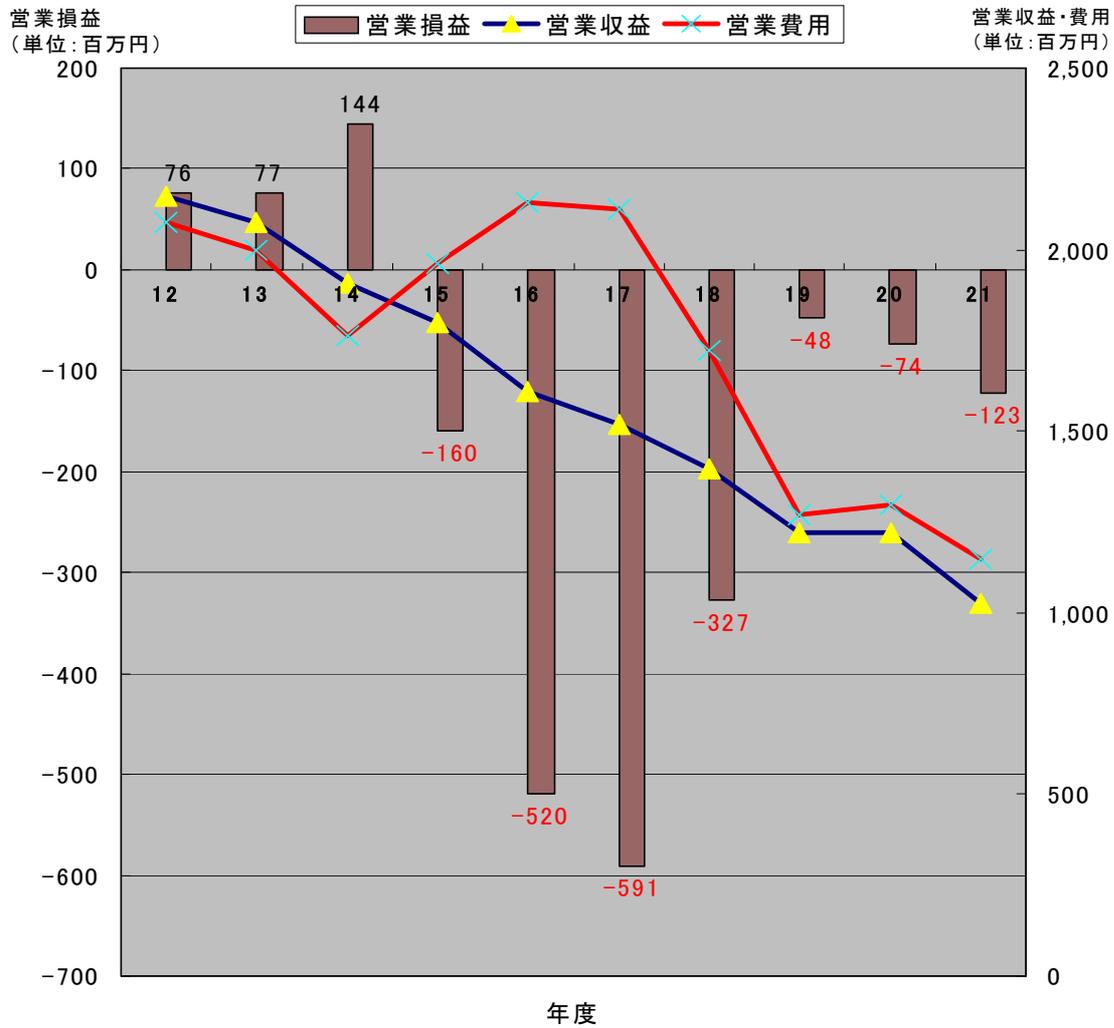
● 環伊勢湾地域の連携基盤

- ・東三河地域では、浜松市等の遠州地域や飯田市等の南信州地域と連携した「三遠南信地域連携ビジョン」（平成19年11月発表）を推進しており、その中で、伊勢・鳥羽地域との連携を強化することにより、「大伊勢湾環状地域」を構成する中核的都市圏の形成を目指している。
- ・また、「中部圏広域地方計画」（平成21年8月策定）においても、環伊勢湾地域の連携強化による広域交流圏づくりを目指しており、同航路は必要不可欠な連携基盤である。

4 伊勢湾フェリー（株）の経営状況等

(伊勢湾フェリー(株)出典データ及び鳥羽伊良湖航路対策協議会出典データを利用し、編集しています)

伊勢湾フェリー(株)の営業収支は、平成15年度に赤字に転じ、これまで7期連続の赤字となっている。また、平成18年度以降債務超過に陥っており、負債総額は平成22年3月末で約21億5千万円となっている。



○過去5年間の経営状況

(単位:百万円)

	年度	H17	H18	H19	H20	H21
損益計算書	営業収益	1,521	1,396	1,222	1,221	1,024
	営業費用	2,112	1,724	1,269	1,295	1,147
	営業損益	△ 591	△ 327	△ 48	△ 74	△ 123
	経常損益	△ 618	△ 360	△ 98	△ 113	△ 138
	当期純損失	△ 910	△ 1,102	△ 117	△ 152	△ 139
貸借対照表	流動資産	130	463	304	148	163
	固定資産	3,289	1,813	1,560	1,339	1,162
	資産合計	3,419	2,277	1,865	1,487	1,325
	流動負債	660	942	829	758	900
	固定負債	2,069	1,749	1,568	1,410	1,251
	負債合計	2,729	2,691	2,397	2,168	2,151
	純資産	691	△ 415	△ 532	△ 681	△ 826

【伊勢湾フェリー(株)の資金問題の要点】

今回、航路の廃止、会社の清算に至った大きな要因としては、平成 17 年 2 月の鳥羽師崎航路の廃止、鳥羽常滑航路の開設に伴い、平成 16 年と 17 年に船 2 隻を建造した際の借入金及び平成 5 年に鳥羽港にターミナルビルを建設した際の借入金の返済が困難になったことが挙げられる。

(単位：百万円)

	年度	H19	H20	H21	
損益計算書	営業収益	1,222	1,221	1,024	
	営業費用	1,269	1,295	1,147	
	営業損益	△ 48	△ 74	△ 123	
	経常損益	△ 98	△ 113	△ 138	(注 1)
	当期純損失	△ 117	△ 152	△ 139	
貸借対照表	流動資産	304	148	163	
	固定資産	1,560	1,339	1,162	
	資産合計	1,865	1,487	1,325	
	流動負債	829	758	900	
	固定負債	1,568	1,410	1,251	
	負債合計	2,397	2,168	2,151	
	純資産	△ 532	△ 681	△ 826	(注 2)

(注 1) 平成 21 年度損益計算書では、経常損益として 1 億 3 千 8 百万円の赤字となっているが、今後は、人件費 2 ～ 3 割削減等の経営改善に取り組む。

(注 2) 平成 21 年度末の貸借対照表では 8 億 2 千 6 百万円の債務超過となっているが、親会社の協力により、22 年 9 月末現在の債務超過は解消されている。

5 廃止届後の動き

(鳥羽伊良湖航路対策協議会出典データを利用し、編集しています)

(1) 鳥羽伊良湖航路の廃止届

平成22年3月24日、「平成22年9月30日をもって鳥羽伊良湖航路を廃止する」旨の届けが、伊勢湾フェリー(株)から中部運輸局に提出された。

航路廃止の理由としては、近年、利用客の減少、燃油費の高騰などから、単年度赤字が続くとともに、平成18年度以降債務超過に陥るなど、経営環境の悪化が挙げられている。

(2) 要望書提出

鳥羽伊良湖航路は、観光をはじめ、物流、地域間交流、環境負荷の低減、災害時等における代替輸送機能等に大きな役割を担うとともに、国道42号の海の道として位置づけられるなど高い公益性を有しており、鳥羽市・田原市にとって重要な航路となっていることから、3月25日、両市は「国及び三重県・愛知県が協力して対策協議会を設置するよう」両県へそれぞれ緊急要望書を提出した。

(3) 伊勢志摩地域、東三河地域で鳥羽伊良湖航路存続対策協議会の設置

鳥羽伊良湖航路は、鳥羽市、田原市だけの問題ではなく、地域全体で取り組んでいく必要があることから、伊勢志摩地域および東三河地域の行政、議会、民間団体に呼びかけ、鳥羽伊良湖航路存続対策協議会をそれぞれ設置し、地域の署名活動など広域に展開できるよう支援を行った。集約された署名は、両地域で287,613人に上り、支援要望とともに国土交通省へ提出した。

(4) 鳥羽伊良湖航路対策協議会の設立

三重県、愛知県は、鳥羽伊良湖航路の存続に向けて取り組むため、三重県、愛知県、鳥羽市、田原市、国の関係機関(中部運輸局、中部地方整備局)と連携し、「鳥羽伊良湖航路対策協議会」を4月21日に設立し、「航路廃止に伴う影響分析」「航路存続に向けての対応方策」等について検討を重ねた。

① 鳥羽伊良湖航路対策協議会による検討

・別会社による運営

航路存続のため、航路を運航できる別の会社を模索したが、具体的な話には至らず。

・公設民営方式による検討

行政が船舶や施設を保有し、事業者が運営のみを行ういわゆる「公設民営方式」を検討したが、船舶の取得に9.5億円程度が必要となるなど行政の負担が過大になることから適当でないと判断。

・伊勢湾フェリー(株)への働きかけ

新たな運航事業者が見いだせない中、事業継続の可能性について、伊勢湾フェリー(株)の経営陣に働きかけたところ、「自ら経営改善に取り組むとともに、一定の支援のもとで、事業を継続していきたい」との考え方が示された。

② 伊勢湾フェリー（株）、親会社との協議結果

伊勢湾フェリー（株）の経営陣の考え方を踏まえ、同社による運航継続を目指して、同社や親会社である近畿日本鉄道（株）、名古屋鉄道（株）、2県2市で協議、調整を重ねた結果、伊勢湾フェリー（株）は、新たな経営体制の下で、事業を継続し、航路を存続させる、そのため、伊勢湾フェリー（株）は経営改善に取り組むとともに、親会社と行政は必要な支援を行うことで基本的な合意に至った。

③ 親会社の支援

親会社は、所有する株式を伊勢湾フェリー（株）の経営陣や行政等に1株1円で譲渡するとともに、伊勢湾フェリー（株）に対して、貸付債権の免除、退職金の支払協力などの支援を行い、同社の債務超過状態を解消したうえで、9月30日をもって経営から撤退した。

④ 伊勢湾フェリー（株）の運航継続

伊勢湾フェリー（株）は、航路廃止届を取り下げ、10月1日以降も鳥羽伊良湖航路の運航を継続することとなった。継続にあたっては、資産（船3隻等）や負債（フェリー新造時等の借入金等）、従業員（74人）を引き継ぐ。

また、同社は、単年度収支の均衡を目指し、経営改善（人件費3割程度削減等）に取り組む。

⑤ 行政の支援

2県2市は、鳥羽伊良湖航路の担う役割、公益性を踏まえ、株式の一部を取得し、経営には参画せず、経営基盤強化のための支援や利用促進、港湾使用料・固定資産税等の減免という観点から、伊勢湾フェリー（株）の経営支援に取り組む。

⑥ 今後の対応

行政の支援

・ 出資

行政は、地域全体で支える必要がある航路であることから、伊勢湾フェリー（株）の株式の一部（2割）を取得した。

・ 資金支援

伊勢湾フェリー（株）の経営基盤を強化するための支援を検討する。

・ 港湾使用料、固定資産税等の減免等

県は港湾使用料等の減免、市は固定資産税の減免等を検討する。

・ 利用促進策の実施

国の地域公共交通活性化・再生総合事業を活用し、2県2市や地域の経済団体等で構成する法定協議会を設置し、地域一体となった利用促進策の実施を検討する。